



平成 23 年 10 月 12 日

各 位

SoftBank  
Technology

会 社 名 ソフトバンク・テクノロジー株式会社  
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 石川 憲和  
(コ ー ド 番 号 4726 東 証 第 一 部)  
問合せ先 取 締 役 管 理 本 部 長 志水 直樹  
(TEL 03-5206-3316)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 23 年 5 月 9 日に公表した業績予想を下記の通り修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

#### 1. 当期の連結業績予想数値の修正

第 2 四半期連結累計期間（平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 13,500	百万円 450	百万円 600	百万円 320	円 銭 33.06
今回修正予想（B）	14,800	650	650	350	36.16
増減額（B - A）	1,300	200	50	30	
増減率（%）	9.6	44.4	8.3	9.4	
（ご参考）前期第 2 四半期実績 (平成 23 年 3 月期第 2 四半期)	13,944	472	526	228	23.66

#### 2. 修正の理由

当社は「System Integrator から Service Integrator へ」を標榜し、事業の Service 化を基盤に、事業への投資と体系化を進めてまいりました。その中で、Online Business Solution & Service と Cloud Enabling®、2 つの事業領域へと発展させてまいりました。

Online Business Solution & Service 事業領域を担うイービジネスサービスセグメントにおいては、法人向けに提供する Web-Marketing サービスの総合化を進めてまいりました。また、EC-BPO サービスでの東アジア進出や、EC-Platform サービスの立ち上げに加え、既存事業の合理化を進めた結果、増益となる見込みです。

Cloud Enabling®事業領域を担うソリューションセグメントにおいては、法人、特に IDC 事業者やソフトバンクグループを中心に、お客様のクラウド化を支援するビジネスが好調に推移しました。また、省電力サーバ販売やクラウドサービスへのセキュアなアクセスを可能にする Access Service も順調に事業進展しており、增收増益となる見込みです。

なお、通期業績予想は、第 2 四半期連結累計期間の決算発表時において同時発表する予定です。

(注) 上記の予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後の様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

以 上